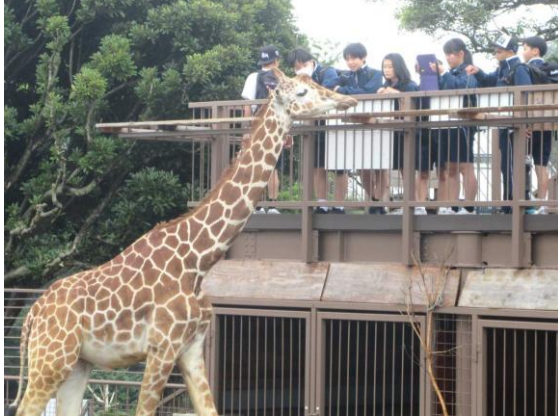


学年の「Level Up」につながる宿泊行事になりました。 2年 下田移動教室 6月29日(水)～7月1日(水)

6月29日(月)から2泊3日、2年生は下田移動教室に行ってきました。前週に発生した2つの台風の動きが心配でしたが、幸い出発前々日の土曜日には日本列島を通過したため、影響なく下田方面に向かうことができました。



移動教室最初の見学地「伊豆シャボテン動物公園」には、渋滞のため1時間ほど遅れて到着しました。ここは、動物との距離が近く、カピバラやミーアキャット、プレーリードッグなどをすぐ手の届くところで観察できるのが特徴の施設です。梅雨の時期のため、東京からここまでの移動中は降ったり止んだりの天候でしたが、シャボテン公園では雨も止み、日も出てきました。おかげで、見学時間は1時間ほどでしたが、伊豆高原の涼しい風に吹かれながら十分に見学を楽しむことができました。

夜は、下田海中水族館の方に講師として来ていただき、出前講座を実施しました。講義では、

・伊豆の海の特徴：

2つの海流、両側にある二つの湾、リアス式の海岸線

・伊豆に生息する魚類や無脊椎動物：

マダイ、キンメダイ、ウツボ、タカアシガニ、ヒトデ 等

・イルカの体形の特徴：

尾びれの形状、鼻の位置、雌雄の見分け方 等

などについて、スライド画像も使って解説いただきました。



さらにウミガメの産卵についての説明では、卵の殻を実際に触らせていただいたり、ふ化したカメが海に戻っていく様子を動画で見せていただいたりしました。翌日は水族館見学に行き、今回学習したことを実際に観察して確認することができました。



6月30日(火)移動教室2日目は、前日とはうって変わり「晴れ」。とはいえ、薄曇りの柔らかい日差しで風もあるため、さほど暑くなく、屋外での活動には絶好の日和となりました。朝食後、まどが海遊公園に移動し学年・学級写真を撮影後、「下田市内班別行動」を開始しました。不慣れな土地のため苦労や失敗もありましたが、班で協力しながら下田開国博物館やMOBS黒船ミュージアム、了仙寺やペリーロードなどの名所・旧跡をめぐり、下田の文化や歴史に触れることができました。

また、下田海中水族館では、伊豆半島に生息する海洋生物を実際に観ることができました。さらに今回は、事前申込をして特別プログラム「バックヤードツアー」を実施、日頃見ることのできない水族館施設の裏側を案内していただきました。そこでは、海洋生物の飼育・展示だけではなく、保護・繁殖にも取り組まれていて、水族館には、私たちが知っているレジャー施設やテーマパーク的な「レクリエーション」機能だけではない、「研究」「教育」「自然保護」といった機能があることを知ることができました。



班行動の最後に、「道の駅・開国下田みなと」で食べたシャーベットの冷たくさっぱりしていて、一日の疲れも吹き飛びました。



この日の夜は、伊豆白浜観光協会の方たちのご指導で「サザエキャンドル」づくりをしました。下田の特産品の一つである「サザエ」の殻に、自分で蠟（ロウ）を流し込み、オリジナルのキャンドルを作ります。ロウソクとして見知っている蠟（ロウ）が、鍋で湯せんすることで液状になるのを見るのは初めてで、それは思いのほかサラサラとしていて、サザエに流し入れていくと、まるでお湯を注いでいるかのような感覚になりました。冷めれば固まって完成、地元の特産品を材料に使った作品なので、この移動教室でのよいお土産になりました。

7月1日（水）、移動教室最終日は、「小田原城」に行きました。「小田原城天守閣」は5階建ての展示室になっていて、城の歴史を知ることができ、その最上階5階は展望デッキで、相模湾や小田原市街が一望できて気持ち良かったです。さらに、付設されている「常盤木門SAMURAI館」は武士の精神性や武具の美術性にスポットをあてた展示館で、様々な甲冑や刀剣を数多く見ることができ、貴重な経験となりました。それらを巡りながら、しおりに掲載してある小田原城での課題に（クイズ）に取り組んでいるあっという間に出発時刻、短時間で充実した見学ができました。



今回の移動教室では、初日の到着時間の遅れもあるなか、協力しながら3日間の集団行動・集団生活をしっかりとやり遂げてくれました。なかには上手くできなかったこともありましたが、そのどれもが、日ごろの学校生活では得られない体験・経験だったと思います。2学年のみなさんのよさや成長する姿を見ることができ、学年の「Level Up」につながる宿泊行事になりました。